

平成28年3月に策定した「木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、毎年度終了後、施策等成果の検証や検証結果を踏まえた見直しを行うこととしています。この検証や見直しにあたっては、「産官学金労言」等の各団体で構成する「まち・ひと・しごと創生懇談会」の委員の皆様や市議会から幅広く意見を聴取し、客観性を確保します。

今般、総合戦略の平成30年度の実績等について取りまとめたことから、ご意見を頂戴しようとするものです。

## 1. 対象

- (1) 総合戦略に位置づけた4つの基本目標及び具体的な施策(32施策)……………資料 2
- (2) 地方創生推進交付金対象事業(2事業)……………資料 3

## 2. 検証内容

平成30年度末の重要業績評価指標(KPI)実績値を把握するとともに、取組み内容について評価し、実績値を踏まえた今後の取組み方針等について検討を行いました。

## 3. 項目

- (1) 平成30年度末の重要業績評価指標(KPI)実績値及び令和元年度の目標値
- (2) 取組の評価
- (3) 今後の方針

## 4. 検証結果の概要

### (1) 4つの基本目標及び具体的な施策に対する検証

4つの基本目標及び32の具体的な施策に対し検証を行ったところ、基本目標に設定した7つの数値目標のうち2箇所について、そして具体的な施策毎に設定した重要業績評価指標(KPI)のうち19箇所について、平成30年度実績値が計画最終年度である令和元年度目標値を上回ることができ、このうち12箇所については、社会状況や事業等の進捗状況を踏まえ、新たに見直し及び変更を行いました。今後の方針については、令和元年度の目標値達成に向けた取り組みの考え方を決めました。

### (2) 地方創生推進交付金対象事業

国の地方創生推進交付金を活用し実施した2つの事業(クルーズシティ木更津プロジェクト事業、「里海」×「里山」×「街なか」資源の相互連携による地域活性化プロジェクト事業)については、事業毎に設定した重要業績評価指標(KPI)のうち、2つの指標(大規模集客施設を除く年間観光入込客数、観光入込客数)について目標値を達成しました。また、目標値達成の如何に関らず、各取組について実績値を踏まえた今後の取組方針を決めました。

◎4つの「基本目標」に対し設定した7つの数値目標のうち、令和元年度目標値を平成30年度に達成したもの

①観光入込客数

②市民活動団体登録数

○具体的な施策毎に設定した重要業績評価指標(KPI)のうち、令和元年度目標値を平成30年度に達成したもの

①子育て中の方向け就労支援セミナー参加者数【累計】

⑪市外からの転入者が購入した新規物件数【累計】

②子育て世代女性を対象にしたセミナー参加者数【累計】

⑫都市と農村の交流活性化を目的としたイベントの開催数【累計】

③若者向け合同企業就職説明会参加者数【累計】

⑬デジタルサイネージ動画配信用コンテンツ数【累計】

④地元企業合同説明会参加者数【累計】

⑭国際交流・国際理解の推進を目的としたイベントの開催【累計】

⑤認定農業者数

⑥新規販路開拓生産者数

⑮市民活動団体登録数

⑦「らぶーBiz」の支援を受けて新規創業した件数【累計】

⑯公民館での地域課題に関する学級・講座数

⑧観光入込客数

⑰本市の歴史や文化に関する公開講座参加者数

⑨街なか居住マンション建設補助事業助成棟数

⑱美術展覧会・コンサート参加者数

⑩オーガニックなまちづくりに係る事業推進

⑲機能別消防団員数

## 5. 令和元年度第1回木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会

○市民課に届けられている婚姻届はいくつあるのか。

⇒ 平成30年度の実績値として、637件となっており、今年度は元号改正があったため増加すると予想している。5月1日は53件あった。

○転入が増加傾向であることはいいことである。しかし、出産出来る女性の人口が減少傾向になっていると厳しい状況になると思うので、女性が働く場の確保や、働ける環境を整備することが重要になると考える。魅力あるまちとしてネウボラ等の充実が大切であると思う。産み育てる女性の人口を増やしていくことが、まちの発展に繋がると思う。(意見として)

○消防団員数について、目標までの残り100人をどの様に増やしていくのか。また機能別消防団とはどのような組織か。

⇒ 消防団委員数について、機能別消防団の発足等、新しい形での参画を募集するなど引き続き取り組んでいく。  
機能別消防団とは、より多くの市民が消防団活動に参加できるよう役割を特化して、時間の許す限りの範囲で活動を行うことができる制度となっており、平成28年4月に「機能別分団女性部」を発足している。

○メディア撮影件数は観光協会のロケーションサービスを介した件数か。

⇒ 木更津ロケーションサービスを介した件数であり、施設等と直接交渉し撮影したロケ等に関しては含まれていない。

○地方創生推進交付金に期限はあるのか。

⇒ 木更津市で採択されている2事業については3カ年の事業である。

○目標数値に届かないように見える指標があるが、もっと現実性のある目標値を設定した方がいいのではないか。

⇒ 第2期総合戦略策定時に、頂いたご意見、現状を踏まえた戦略にしていきたい。

## 6. 市議会総務常任委員会協議会

○水産業に対する支援は、漁業者からの提案か。

⇒ 今年度の「カキ養殖」については、県・市を含めた検討の中で漁業協同組合から出た提案である。

○これからも漁業を続けていける場所なのか等も含めて根本的な計画の見直しが必要なのではないか。(意見として)

○市民活動団体、まちづくり協議会の発足状況は。また、市民活動団体の目指すべき姿は。

⇒ 市民活動団体は、団体同士のコラボレーションや企業とのマッチングによりさらなる発展をしていただきたいと考えており、市民活動支援センターを活用し様々な分野の団体が活動し、市と団体が協働して課題を解決していければよいと考えている。まちづくり協議会については、6月23日に中郷地区が発足し、合計8地区となる。説明会等を開催し全地区設立を目指していく。

○大型外航クルーズ船誘致業務の検証結果を今後どのようにするのか。

⇒ 地方創生推進交付金の活用は今年度で終了となるが、誘致活動を継続し、経済効果を上げられるよう引き続き取り組んでいく。また第2期総合戦略でもクルーズ船を活用した活性化について触れていくことを考えている。